



Friends of Thailand in Japan

2023年3月～4月、フレンズ・オブ・タイランドの3団体のメンバーが、新しく就任したアッカラポン・チャルームノン総領事を表敬訪問し、大阪での職務就任を祝うとともに、自己紹介や活動報告を行いました。

まずは、木村 滋世会長が率いる「日タイ教育交流協会」です。同会は1981年、日本と

タイの教育・文化交流の促進を目的に京都で設立された非営利団体で、特に毎年京都で開催される「日・タイ・カルチャーフェア」の運営に力を入れています。



2つ目は、西村 朋也会長を中心とする大阪大学タイ語専攻卒業生の会「白象会」です。大阪大学は、日本でタイ語を専攻できる3校のうちの1校です。同会は1949年に設立され、現在、約800～900名の会員が在籍しており、その多くはタイで働いたり、タイに住んでいたり、タイとビジネスをしています。同会は毎年、同窓会を開催しています。

3つ目は、赤木 攻名誉教授が会長を務める「日本タイクラブ」です。同クラブは1990年に設立され、タイを愛する会員で構成されています。

これまでの活動としては、タイ北部ランパン県の学校での教師ボランティアの支援、タイに関する学術セミナーの開催、最近では日タイ語辞書の改訂版が来月発売される予定です。



総領事は、日本におけるタイらしさの推進と日本におけるフレンズ・オブ・タイランドの増加に対する各協会の会員の協力を歓迎と感謝を述べるとともに、この機会に各協会の活動を支援するための資金を提供することを表明しました。また、タイ王国総領事館は、人と人とのつながりを含め、あらゆるレベルでタイと日本のつながりを強化するために、日本のフレンズ・オブ・タイランドと協力する準備ができていることを確認しました。